

様式 1 公表されるべき事項

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の役職員の報酬・給与等について

I 役員報酬等について

1 役員報酬についての基本方針に関する事項

① 平成18年度における役員報酬についての業績反映のさせ方

役員報酬のうち、特別手当については、国土交通省独立行政法人評価委員会が行う業績評価の結果を勘案して役員の職務実績に応じ、増額又は減額することができることとしている。(増減は100分の10の範囲内)

② 役員報酬基準の改定内容

・国家公務員の指定職の給与改定に準じて平成18年4月より俸給の改定及び特別地域手当の新設を行った。

特別調整手当に替えて特別地域手当を新設
支給割合: 東京都特別区13%、横浜市11%

理事長	俸給の引下げ(1,222,000円→1,141,000円)
副理事長	俸給の引下げ(1,088,000円→1,016,000円)
理事	俸給の引下げ 理事長代理(1,050,000円→979,000円) 理事(908,000円→847,000円)
理事(非常勤)	該当者なし
監事	俸給の引下げ(821,000円→766,000円)
監事(非常勤)	俸給の引下げ(272,000円→254,000円)

2 役員報酬等の支給状況

役名	平成18年度年間報酬等の総額				就任・退任の状況	
	報酬(給与)	賞与	その他(内容)		就任	退任
理事長	千円 22,954	千円 14,664	千円 6,476	千円 1,613 201	(特別地域手当) (通勤手当)	
副理事長	千円 20,534	千円 13,056	千円 5,766	千円 1,436 276	(特別地域手当) (単身赴任手当)	3月31日 1人
理事 (10人)	千円 171,328	千円 108,064	千円 47,664	千円 12,677 348 2,575	(特別地域手当) (単身赴任手当) (通勤手当)	7月12日 3人 6月20日 1人 6月29日 1人 7月10日 1人
監事 (3人)	千円 46,435	千円 29,501	千円 13,053	千円 3,245 636	(特別地域手当) (通勤手当)	3月1日 1人 2月28日 1人

注:「その他」欄には手当等が支給されている場合は、例えば通勤手当の総額を記入する。
「特別地域手当」とは、国家公務員の地域手当に準拠する手当である。

3 役員退職手当の支給状況(平成18年度中に退職手当を支給された退職者の状況)

区分	支給額(総額) 千円	法人での在職期間 年 月	退職年月日	業績勘案率	摘要
理事長					該当者なし
副理事長	5,453	3 6	H19.3.31	—	支給額は「暫定的な業績勘案率(1.0)」をもって算出しているものであり、独立行政法人評価委員会が平成18年度業績評価後に決定する「業績勘案率」の結果に基づき、この支給額との差額を精算することとしている。
理事A	4,069	2 9	H18.6.20	—	支給額は「暫定的な業績勘案率(1.0)」をもって算出しているものであり、独立行政法人評価委員会が平成18年度業績評価後に決定する「業績勘案率」の結果に基づき、この支給額との差額を精算することとしている。
監事A	4,281	3 5	H19.2.28	—	支給額は「暫定的な業績勘案率(1.0)」をもって算出しているものであり、独立行政法人評価委員会が平成18年度業績評価後に決定する「業績勘案率」の結果に基づき、この支給額との差額を精算することとしている。

注:「摘要」欄には、独立行政法人評価委員会による業績の評価等、退職手当支給額の決定に至った事由を記入する。

II 職員給与について

1 職員給与についての基本方針に関する事項

① 人件費管理の基本方針

中期目標において「一般管理費について、平成14年度比で13%程度に相当する額を削減する。」こととされており、これに基づき人件費についても総額の抑制・管理に努めている。これに加え、平成18年3月31日に変更した中期計画において「平成17年度を基準として、平成18年度から平成22年度までの5年間に於いて、人件費(退職手当等を除く。)について5%以上の削減を行う。」こととしている。

② 職員給与決定の基本方針

ア 給与水準の決定に際しての考慮事項とその考え方

独立行政法人通則法第63条第3項の規定に基づき職員の給与の支給基準を社会一般の情勢に適合したものとするため、人事院勧告等を勘案し、決定している。

イ 職員の発揮した能率又は職員の勤務成績の給与への反映方法についての考え方

職員の勤務成績等を考慮した任用を行っており、昇格・昇給の実施及び勤勉手当の支給に反映している。

[能率、勤務成績が反映される給与の内容]

給与種目	制度の内容
俸給	・勤務成績が良好な職員のうち、昇格基準に達した者の昇格 ・12月を下らない期間を良好な成績で勤務した場合の昇給 ・勤務成績が特に優秀である場合の昇給
賞与・勤勉手当 (査定分)	勤務成績に応じて、0/100～185/100

ウ 平成18年度における給与制度の主な改正点

特になし

2 職員給与の支給状況

① 職種別支給状況

区分	人員	平均年齢	平成18年度の年間給与額(平均)			
			総額	うち所定内		うち賞与
				うち通勤手当		
常勤職員	1,467	50.6	9,038	6,503	151	2,535
事務・技術	1,298	49.3	9,258	6,654	155	2,604
研究職種	該当者なし					
医療職種 (病院医師)	該当者なし					
医療職種 (病院看護師)	該当者なし					
教育職種 (高等専門学校教員)	該当者なし					
技能・労務	1					
嘱託	168	60.4	7,343	5,339	119	2,004

非常勤職員	52	40.0	3,606	2,746	145	860
事務・技術	52	40.0	3,606	2,746	145	860
研究職種	該当者なし					
医療職種 (病院医師)	該当者なし					
医療職種 (病院看護師)	該当者なし					
教育職種 (高等専門学校教員)	該当者なし					

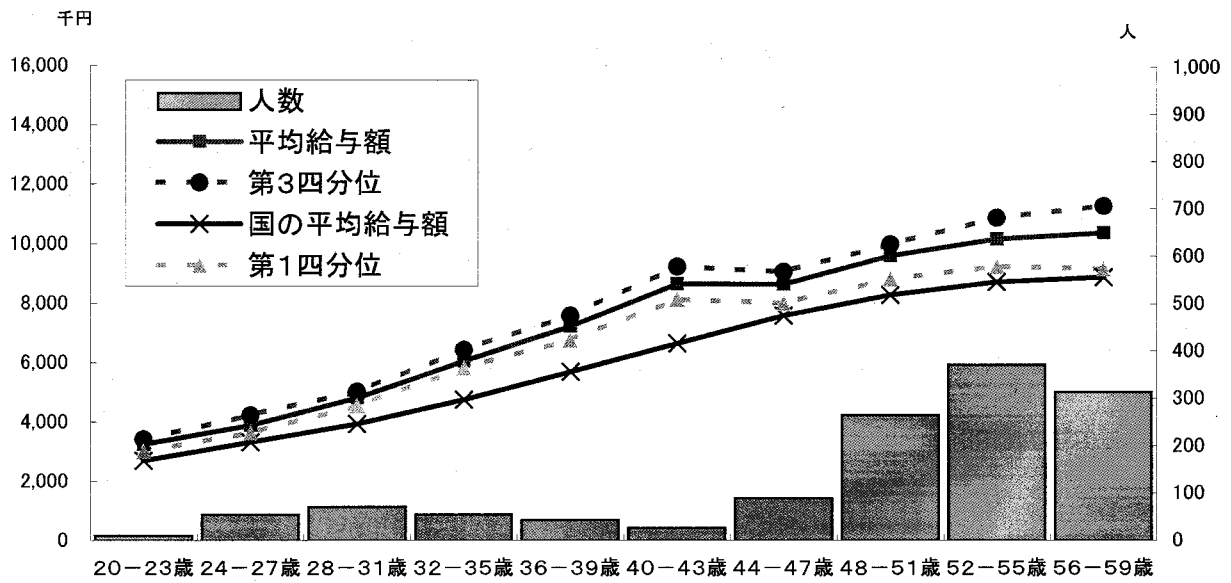
注1:「技能・労務」とは、自動車運転手である。

注2:「技能・労務」については、該当者が1人のため、当該個人に関する情報が特定されるおそれがあることから、「平均年齢」以下の事項については記載していない。

注3:「嘱託」とは、専門的知識と経験を必要とする業務に従事させる場合、又は、理事長が特に必要と認める場合に委嘱する正規職員以外の職員である。

注4:在外職員、任期付職員及び再任用職員については、該当者がいないため省略した。

② 年間給与の分布状況(事務・技術職員)



注:①の年間給与額から通勤手当を除いた状況である。以下、⑤まで同じ。

(事務・技術職員)

分布状況を示すグループ	人員	平均年齢	四分位		平均	四分位	
			第1分位	第3分位		第1分位	第3分位
本部課長	67人	53.7歳	11,293千円	12,765千円	12,081千円	11,293千円	12,765千円
本部係員	47人	30.1歳	4,222千円	4,955千円	4,678千円	4,222千円	4,955千円

③ 職級別在職状況等(平成19年4月1日現在)(事務・技術職員)

区分	計	7等級	6等級	5等級	4等級	3等級	2等級	1等級
標準的な職位		係員	係員	係員	係長	課長補佐	課長	部長
人員(割合)	1,298人	7人 (0.5%)	56人 (4.3%)	76人 (5.9%)	490人 (37.8%)	522人 (40.2%)	110人 (8.5%)	37人 (2.9%)
年齢(最高～最低)		23歳 21歳	34歳 23歳	58歳 26歳	59歳 30歳	59歳 35歳	59歳 40歳	59歳 48歳
所定内給与年額(最高～最低)		2,450千円 2,031千円	3,409千円 2,374千円	5,802千円 2,800千円	7,455千円 3,705千円	9,091千円 4,540千円	10,798千円 6,082千円	10,872千円 8,632千円
年間給与額(最高～最低)		3,419千円 2,815千円	4,760千円 3,313千円	8,159千円 3,919千円	10,238千円 5,286千円	12,352千円 6,445千円	15,044千円 8,522千円	15,570千円 12,367千円

④ 賞与(平成18年度)における査定部分の比率(事務・技術職員)

区分		夏季(6月)	冬季(12月)	計
管理 職員	一律支給分(期末相当)	% 57.1	% 60.5	% 58.9
	査定支給分(勤勉相当) (平均)	% 42.9	% 39.5	% 41.1
	最高～最低	% 43.5～36.8	% 39.8～36.9	% 41.6～36.8
一般 職員	一律支給分(期末相当)	% 63.2	% 63.1	% 63.1
	査定支給分(勤勉相当) (平均)	% 36.8	% 36.9	% 36.9
	最高～最低	% 43.5～36.8	% 39.8～36.9	% 41.6～36.8

⑤ 職員と国家公務員及び他の独立行政法人との給与水準(年額)の比較指標(事務・技術職員)

对国家公務員(行政職(一)) 117.2

対他法人(事務・技術職員) 109.4

注: 当法人の年齢別人員構成をウェイトに用い、当法人の給与を国の給与水準(「対他法人」においては、すべての独立行政法人を一つの法人とみなした場合の給与水準)に置き換えた場合の給与水準を100として、法人が現に支給している給与費から算出される指数をいい、人事院において算出

給与水準の比較指標について参考となる事項

当機構の給与の水準については、以下の状況を考慮した結果であると考えている。

- ① 当機構の大半の職員が従事する鉄道建設事業において、土木、建築、用地買収等の総合的な鉄道建設技術の確保、承継を必要最小限の人員で行っていかねばならぬため、優秀な人材の確保をする必要があること。
- ② 各新幹線建設事業等は、有期事業であり、余剰人員を抱えないために、限られた要員の中で、事業の進捗、業務量の波動に応じ、職員を機動的かつ効率的に配置するための人事異動が不可欠であり、そのために大半の職員を対象とした全国規模での人事異動を実施している。このため、全国規模の転勤が2～3年程度で繰り返されることが常態化しており、その結果、扶養家族を有する職員が、単身赴任を余儀なくされるケースが多く、その割合は、職員全体の約3割となっていること。

このような経緯や背景によって、必要な人材を確保するため、当機構の職員の給与水準が現時点において国家公務員の給与水準を100とした場合に「117.2」となっているものである。

いずれにしても、今後における当機構の職員の給与水準については、独立行政法人通則法（平成11年7月16日法律第103号）第63条第3項に「職員の給与の支給の基準は、当該独立行政法人の業務を考慮し、社会一般の情勢に適合したものとなるように定めなければならない。」と定められているため、当機構の法人特性や人事院勧告等も勘案しつつ、適正な給与水準となるように努めていくこととしている。

III 総人件費について

区 分	当年度 (平成18年度)	前年度 (平成17年度)	比較増△減		中期目標期間開始時(平成15年度)からの増△減	
	千円	千円	千円	(%)	千円	(%)
給与、報酬等支給総額 (A)	15,585,287	16,603,447	△ 1,018,160	(△ 6.1)	△ 2,286,624	(△ 12.8)
退職手当支給額 (B)	3,625,454	4,188,376	△ 562,922	(△ 13.4)	△ 448,830	(△ 11.0)
非常勤役職員等給与 (C)	2,267,289	1,701,624	565,665	(33.2)	1,229,123	(118.4)
福利厚生費 (D)	4,239,735	4,214,511	25,224	(0.6)	312,039	(7.9)
最広義人件費 (A+B+C+D)	25,717,765	26,707,958	△ 990,193	(△ 3.7)	△ 1,194,292	(△ 4.4)

総人件費について参考となる事項

1 「給与、報酬等支給総額」及び「最広義人件費」の増減要因

対前年度比	「給与、報酬等支給総額」	△6.1%
	「最広義人件費」	△3.7%

減少の要因は、年間給与額が高い高齢者の退職及び職員から嘱託への切替が進展しているため。

2 人件費削減の取組の状況

① 国土交通大臣が中期目標において示した人件費削減の取り組みに関する事項

「人件費（退職手当等を除く。）については、「行政改革の重要方針」を踏まえ、平成18年度から平成22年度までの5年間に国家公務員に準じた人件費削減の取組を行うとともに、国家公務員の給与構造改革を踏まえた給与体系の見直しを進める。」

② 当機構が中期計画において設定した削減目標、国家公務員の給与構造改革を踏まえた見直しの方針「業務運営の効率化、外部能力の活用による計画的削減等により中期目標期初の常勤職員数1,891人を中期目標期末までに1,770人以下とする。さらに、「行政改革の重要方針」を踏まえ、国家公務員に準じた人件費削減として、平成17年度を基準として、平成18年度から平成22年度までの5年間に於いて、人件費（退職手当等を除く。）について5%以上の削減を行うこととし、現中期目標期間においては、概ね2%以上の人件費を削減するとともに、国家公務員の給与構造改革を踏まえて、役職員の給与について必要な見直しを進める。」

③ 人件費削減の取組の進捗状況

- ・基準年度（平成17年度）の「給与、報酬等支給総額」 16,603,447 千円
- ・当年度（平成18年度）の「給与、報酬等支給総額」 15,585,287 千円

・当年度までの人件費削減率

$$(15,585,287 \text{ 千円} - 16,603,447 \text{ 千円}) \div 16,603,447 \text{ 千円} \times 100 \approx \Delta 6.1\%$$

IV 法人が必要と認める事項

特になし。